



今月新しく入りました。

●一般の本

／トライアングル (作=新津きよみ) / 森に眠る魚 (作=角田光代) / ポトスライムの舟 (作=津村記久子) / 少女 (作=湊 かなえ) / しあわせになっちゃ、おしまい (作=平 安寿子) / 男道 (作=清原和博) / 反乱する管理職 (作=高杉 良)

●子どもの本

／ゆきだるまのあたま (作=黒田かおる) / おやすみなさいコッコさん (作=片山 健) / おたんじょうびのひ (作=中川ひろたか) / ぶたのぶたじろうさん6 (作=内田麟太郎) / きになるともだち (作=内田麟太郎)

中でもこの本がお勧めです。

豚のPちゃんと32人の小学生

一命の授業 900日ー 作=黒田恭史



平成2年から4年にかけて大阪北部の小学校で、豚の飼育を通して教育を考え、命を見直そうとした実践が展開され、話題となった。教育の現場で「命」をどのように教えることができるのか、経験させることができるか。本書は答えを求め続けた900日にわたる「命の授業」の記録である。

まほうのマフラー

作=あまん きみこ



お父さんの緑のマフラーを巻くと勇気がでて、頑張れちゃう男の子…。「とおさんのマフラーは巻くとぐんぐん勇気がでる、まほうのマフラーだ！」小さな男の子の心の成長を描く一週間の物語。彼の一生懸命な頑張りの訳は…。胸がいっぱいになり、思わず応援したくなります。



としよかんライオン
訳=福本友美子



遠い朝の本たち
作=須賀敦子

あ 入る日、まちの図書館が、大きなライオンが入ってききました。貸し出しカウンターのマクビーさんは驚いて、館長のメリウエザーさんに「ライオンがいるんです」と言います。メリウエザーさんは「図書館の決まりを守っているのな

著 者が幼年期、学生時代に出会った本たちのことや、家族、友人その時代背景などを綴ったエッセイ集。「幼い時の読書が、私には物を食べるのと似ているように思える時がある。多くの側面を理解出来ぬままではあったけれど、あ

らそのままにしておきなさい」と言います。ところがあは大きな声を出してしまいましたが、みんなに好かれていたライオンは図書館に來られなくなりません。心温まる優しい絵本です。

る文章は、私の肉体の一部になつた」と記している。豊かな読書体験からの本の魅力と、ヨーロッパでの生活体験からの心の深さと、文章の読みやすさに魅かれてしまう。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。3月は「本たち」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は伊高浪子さん(いずみ読書会)です。



調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番



Health

ADVICE



私の友達が不整脈を指摘され、ペースメーカーを勧められたそうです。ペースメーカーとはよく聞きますが詳しくは何ですか。(62歳・女性)

【心臓の働き】

心臓は、安静時には1分間に50〜80回くらいの拍動をくり返し、全身に血液を送り出しています。この規則的な心拍動のリズムは、心臓内に発生する電気の流れによって調節されています。

【心臓の異常】

何らかの原因でこの電気の流れが正常に伝わらなくなると、心拍動のリズムが乱れて不整脈(脈がとぶ期外収縮、脈が速くなる頻脈、脈が遅くなる徐脈など)が発生します。そのうちの徐脈には、電線に相当する伝導路が障害される房室ブロックと、特殊な心臓の筋肉の集まりである洞結節自体の働きが悪くなって、規則的な電気刺激が発生しない洞不全症候群があり、特に心拍数が1分間に40回以下に低下した場合は、心臓から全身へ送り出される血液が

減少し、体を動かしたときの激しい息切れ、あるいは脳に十分な血液を送れないことによるひどいめまいや一時的な意識消失などの症状が現れます。こうした徐脈の治療には、ペースメーカーが効果を発揮します。

【ペースメーカーとそのしくみ】

ペースメーカーは、心臓の筋肉に人工的な電気刺激を送り、心臓に適切な拍動を起こさせる小さな電子機器で、手術で体内に植え込みます。電池やコンピュータなどの本体部分と、心臓内に電気刺激を送る電極がついた細いリード線(電線)でできています。心臓の内部まで送り込まれたリード線は、心臓に電気刺激を送るだけでなく、心臓の筋肉の興奮状態を感知し、それを本体に伝える働きもします。どのようなときにどのような刺激を送るかは、その人

の不整脈の状態などに合わせて細かく設定します。

ペースメーカーの植込み方は年齢や生活様式、環境によって最もよい方法を選びます。一番多い方法は、鎖骨の下を通る静脈に電極を挿入して心臓の中に入れる方法で、発振器を鎖骨の下の皮膚の下に植え込みます。手術は2時間ほどで終わります。皮膚の下に植え込まれるため、ペースメーカーの作動状況は外から見ても分かりません。ペースメーカーの作動状況や電池容量などの把握のため、定期的な点検が必要となります。点検時間は数分で、体の外から点検できますので苦痛はありません。電池の寿命は約5年ですが、機種や設定によって電池の消耗度が変わります。

退院後は普通の日常生活が可能です。ペースメーカーは外部からの電気や磁力に影響を受けることはありません。普通のおもちゃや家電製品は影響を及ぼす物や絶対に避けていた方がいい機器があるので、十分な注意が必要です。携帯電話は22cm以上離れば安全ですが、もし異常を感じた場合はただちに離れてください。また、激しい運動やペースメーカーの植え込み部位に近い筋肉を続けて動かす運動も避けるべきです。血圧が上がったり、ペースメーカーのリードに思わぬ力がかかることが多いからです。

ペースメーカーとは、心臓の筋肉に人工的な電気刺激を送り、心臓に適切な拍動を起こさせる小さな電子機器です。



【アドバイザー】

長野 一郎さん・ながの いるろう・平成3年九州大学医学部を卒業後、同大大学院、浜の町病院、飯塚病院、産業医科大学病院、九州厚生年金病院などを経て、平成20年2月から町立病院循環器内科に勤務。43歳。